

授業科目	成人看護学援助論Ⅲ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験
		2年次	1	30		徳本 裕有	有
授業概要	身体各機能障害が、生命や生活にどのように影響を与えているかを理解し、その健康障害に応じた援助方法の知識と技術を学ぶ。認知機能障害・運動機能障害・感覚機能障害のある患者の看護実践に必要なアセスメント・看護介入について理解し、健康回復から終末期における看護について学ぶ。						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	I. 認知機能障害時の看護 <クモ膜下出血・脳出血患者の看護>						講義
2	1) 急性期の治療と看護						
3	(1) 頭蓋内圧亢進症状と生命維持						
4	(2) 手術を受ける患者の看護						
5	(3) 廃用症候群と二次障害予防						
6	(4) 心理社会的援助						
7	2) 回復期の治療と看護 機能障害の回復と機能訓練						
8	3) 再発予防に向けての援助						
9	II. 運動機能障害時の看護						
10	1. 大腿骨頸部骨折患者の看護						
11	1) 手術時の看護						
12	(1) 患肢の安静と保持 (2) 合併症の予防						
13	(3) 退院に向けての生活調整						
14	2) 保存的治療を受ける患者の看護						
15	2. 脊髄損傷の患者の看護						
16	1) 急性期の看護 2) 亜急性期・慢性期の看護						
17	3. パーキンソン病患者の看護						
18	1) 症状・経過の理解と看護 2) 薬物治療と看護						
19	3) 退院調整と家族介護への看護						
20	4. ALS患者の看護						
21	III. 感覚機能障害時の看護						
22	1. 緑内障患者の看護						
23	・主な治療と看護 ・視力低下、失明に伴う看護						
24	2. 喉頭がん患者の看護						
25	・主な治療と看護 ・退院後の生活に向けて						
26	試験						
テキスト	成人看護学[7]脳・神経/医学書院 成人看護学[13]眼/医学書院			成人看護学[10]運動器/医学書院 成人看護学[14]耳鼻咽喉/医学書院			
評価方法	筆記試験						
先修条件	基礎看護学9科目・成人看護学概論の履修						